

政治には投票率向上が重要

= 北海道町村議会議員研修会に参加 =

参院選最終情勢分析と 選挙後の政局展望

令和4年7月6日に北海道町村議会議員研修会が、札幌コンベンションセンターで3年ぶりに開催された。

新型コロナウイルス感染症対策のため、2回に分けて研修会が行われ全道各地から町村議員が集い、音更町議会からは17名の議員が参加した。講師には、

政治ジャーナリストの泉宏氏を招き「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題して講演を行った。

泉氏は、具体的な数字を元に参院選の情勢分析を説明するとともに、参院選後の政局についても資料を通して



泉 宏氏

解説した。政治ジャーナリストの視点で、一般的には知られていない政治の舞台裏を披露する場面もあり、興味深い内容であった。また、投票率向上が国政にとって重要だと指摘し、改めて国会議員の活動が私たちの生活に直結するのだと感じた講演だった。

7月6日に北海道議会会議事堂、翌7日には白老町のウポポイ（民族共生象徴空間）を視察調査した。北海道議会は、庁舎の老朽化により平成30年3月より庁舎改築が行われ、令和2年1月に新庁舎が完成し同年5月に移転した。新庁舎の特徴として①バリアフリーへの対応②地域資源の活用③省エネ性能が挙げ

7月6日に北海道議会会議事堂、翌7日には白老町のウポポイ（民族共生象徴空間）を視察調査した。北海道議会は、庁舎の老朽化により平成30年3月より庁舎改築が行われ、令和2年1月に新庁舎が完成し同年5月に移転した。新庁舎の特徴として①バリアフリーへの対応②地域資源の活用③省エネ性能が挙げ

道議会会議事堂・ウポポイ 視察調査

視察調査

おり、様々な配慮が見受けられた。本会議場や各委員会室等には道産木材がふ

おり、様々な配慮が見受けられた。本会議場や各委員会室等には道産木材がふ



民主的な形（馬蹄形）をコンセプトにした設計の本会議場

んだんに使用され、建物は免震構造で耐震性にも優れており、北海道行政の中心地であることを再認識した。

ウポポイの視察調査では、広大な敷地に囲まれた国立民族共生公園内に伝統的コタンと呼ばれるアイヌの生活空間が体感でき、アイヌ民族の伝統的な儀礼等を見学した。国立アイヌ民族博物館では「アイヌの歴史と文化」をテーマに多くの展示物や映像を目にすることができ、貴重な経験をすることができた。



アイヌの昔のチセ（家屋）を再現